

福井県高次脳機能障害者と家族の会

ふくわらい



第 24 号

2020年10月19日発行

福井県高次脳機能障害者と家族の会

「福笑井」事務局

第13回総会はコロナ禍で書面決議

会長 村下 恵美子

皆さんお元気にお過ごしでしょうか？

原稿を書いている9月初旬はまだまだ暑い日が続いております。連日35度、38度などと体温を超える数字を聞いても驚かなくなっていることにびっくりします。つい先日は今までにない台風が来ると、日本中がドキドキしていました。その前には福井県で震度5の地震がありましたね。災害のオンパレード状態ですが、温暖化を呼び起こした私たち人間の責任でもあるのですから生活を考えなければいけない時期にきているのですね。私たち人間は何でもできると思いがちですが、しっぺ返しは必ず自分達に返ってくるものです。

さて、前回の機関誌を眺めていて、この頃はこんなコロナになるなんて思ってもいなかったなあと思いをさせています。香川の全国大会の時も、クリスマス会で音楽療法を教えてもらった時も赤い羽根の募金をしている時も、まさかこんなことになるなんて思っていなかった。今年の2月の終わりにピアサポートの講演を伊藤智樹先生よりお聞きした頃より少しずつ始まっていきました。この例会にはマスクもしていましたが、消毒もしましたね。そこからどんどん広まっていき、福井県にも第一波、今が第二波となってきています。

今回は総会も開催できなくて皆様には書面で決議をさせて頂きました。未だかつてないことですが仕方ありませんね。思ってもみなかったことが現実となったコロナ時代の到来。すぐには終息しなくて何年かは共存しなくてははいけない様です。私は思います。高次脳機能障害を負った私たち本人や家族も、まさかこんな目に遭うなんて思ってもいなかった。人生設計には入っていませんでしたね。普段通りのきのうまでと、そして今日からの天と地ほどの違い。でもそんな大変だったことも、時の経過と共にまわりの皆や家族や福笑井の仲間達と共に乗り越えてきましたよね。今回のこの出来事も、いつかこんなことあったねと振り返れる日が来る事を信じて皆で力を合わせて乗り越えましょうね。

知らないうちに、拡めちゃうから。



ピアサポート研修会が Zoom(ズーム)にて開かれました

Y・N

7月12日(日)13:30~15:30に富山大学の伊藤智樹先生のご指導で「ピアサポートの基盤的役割」のテーマでオンライン研修会が開かれました。事前(6月28日)にZoomの使い方について一度練習をしてから、当日の本番を迎えました。富山県の家族会や支援センターの方も含め10名が参加しました。初めてのリモート研修だったので、使い方に戸惑いがありましたが、伊藤先生のわかりやすい説明で話し合いが進められました。

グループワーク(1)

まず、5人ずつのグループで自己紹介をしました。

ルールは、・他人の話は最後まで聞く

- ・批判しない
- ・あまり長々と話しすぎないようにする など



ピアサポートの基本は、混沌とした物語を聴く場を作ること

グループワーク(2)

次に、もしこんな人がいたとしたら、どんなふうにこの人を見ますか。または、どんな対応をしようと考えますかのテーマで話し合いました。

昨年、夫が脳出血で職場から救急車で〇〇病院に運ばれたんですよ。本当にその時はダメかと思いました。でも、手術はうまく行って、意識が戻りました。その後リハビリをして、だんだん本人も動けるようになってきました。それから退院して家に戻ってきたんだけど、毎日ぼおーっとして過ごしているんですよ。コンビニに行くとか、庭の世話とかちょっとしたことはするんですけど。こんな調子で本当に会社に戻れるのか。見ているだけで嫌になります・・・。

みなさんだったら、どう返しますか？

伊藤先生から・・・落ち込む来談者に対して、無理やり元気づけようとしたり、解決策を言ったりするのではなく⇒まずは十分に語ってもらう、聴くことがあくまでも大事

「あれもこれもしなきゃ」「何かから手をつけていいのかわからない」が見られる場合は、少し積極的に整理してあげると安心感につながる。

次回2回目のピアサポート研修会(Zoom)9月27日(日)については、次回の機関誌にてお伝えいたします。Zoomでの参加は、思ったほど難しくはないので是非挑戦してみてください。3回目は11月22日を予定しています。

8月の例会は・・・金津創作の森にてガラス体験をしました

8月23日(日) コロナ対策で、午前と午後の部に分かれて
少人数で行いました。午前は11名、午後は
9名の参加でした。

**アルファベットや数字、ハートや星型のシールをガラスに貼り、砂をガラ
スに吹き付けてコップを作りました。**

【マイコップは世界に一つ】 Oさん
コロナの影響で久しぶりの例会に出席して元
気に福笑井の皆さんとお会いできてとても嬉し
い思いがしました。

創作の森でのサンドブラスト体験で人生初の
コップ作り。それも世界に一個だけのオリジナ
ルコップです。出来上がったコップは毎日愛用
しています。コップを見るたび自分で模様をつ
けたステキな思い出が浮かんで来ます。【たか
がコップされどコップ】となりました。

さらに誕生日のお祝いとベゴニアのお花のプ
レゼントまでして頂き、おかげさまで毎年通過
点でしかなかった誕生日が人生最高の記念とな
りました。ありがとうございました。

【初めてのコップ作り】 Hさん
夫も私も創作の森は初めてでした。半
日でしたが、とても楽しい時間が過ごせ
作ったコップは毎日使ってます。

週5回のリハビリのほかは、毎日の殆
どがTVの番人なので、ランチまで何人
かの皆さんとご一緒出来たことはなおさ
ら良かったです。

この会に参加させてもらうことが楽し
みです。素敵な企画をありがとうございました。

【心和ませ、楽しい時間】 Yさん

福井県高次脳機能障害 福笑井の家族の
会では、毎月の例会に加え、家族会の皆様
の心が触れ合い、癒される素敵な企画を毎
年企画し、催しており、沢山の皆さんが癒され
笑顔の数を増やし、幸せを共有しています

今回の企画も 素晴らしく自然の中で創
作し、心を和ませ、楽しい時間を共有させ
ることができ大変良かったと思います。

このような良い企画を通して、家族会の
皆さんが日々の生活における不安や悩みを
解消するきっかけをつかんで頂けると思
います。

企画された役員の方々に感謝しています
皆さんお疲れさまでした。





4月から8月までの誕生日の人には
鉢花のプレゼント♡♡♡

世界で一つのマイコップ
ができあがりました



久しぶりのパコーン練習

R・Y

7月19日(日) 13:30~15:30 10名参加 村下ショールームにて

9月6日(日) 13:30~15:00 18名参加 円山公民館にて

「オレ、行かん」

「福笑井のパコーン練習が有るけど、どうする?」と聞くと夫は、毎回同じ返事をします。その後、なんだかんだと言いつつ、パコーン練習に参加する面倒くさがり屋の夫です。そんな夫を連れて、パコーンの練習に行きました。コロナ禍でなかなか顔を合わせる事も叶わずに、月日が経っていきました。折角作ったマイパコーンに埃が被ってしまいそうでした。けれど、久しぶりに顔を合わせると、長いブランクも感じる事なく楽しい時間でした。練習は、三味線の先生も参加されて、三味線に合わせてシャンシャン踊りをしたり、マイパコーンを叩いたりしてとても楽しかったです。家に籠って鬱々とした気持ちが晴れていきました。気晴らしとはこんな感じを言うんでしょうか。コロナと熱中症とのダブル対策で、ソーシャルディスタンスをとり時間制限もありましたが、かえって濃い時間を過ごすことができました。やはり気心の知れた皆さんで集まって一緒に何かするのは楽しいですね。コロナで社会は変わったと言われて久しいですが、いずれまた人々は濃い人間関係を築く様になるんだろうなと思いました。そんな日を待ちわびて、コロナが治るまで頑張らしましょう!



❀ 会員募集中!!! ❀

「福笑井」は、高次脳機能障害者および家族が、生き生きとした生活ができるよう、福利と親睦を図り、社会に対して働きかけ、高次脳機能障害について理解を広めることを目的として作られた会です。

皆様の入会、応援、ご協力をお待ちしています。

年会費 正会員家族：3600円

賛助会員：2000円